

お祝いのメッセージ

宮崎県立看護大学の卒業生、修了生の皆さん、本日は、誠におめでとうございます。今、胸中には、学業を終えられた充実感と、新たな生活への夢や希望など様々な感慨が去来していることと存じます。

また、今日まで皆さんを温かく見守ってこられました御家族、並びに熱心に指導や相談にあたられた先生方におかれましても、この佳き日を迎えられましたことに対し、心からお祝いを申し上げます。

さて、高齢化社会への移行が急速に進み、医療・介護へのニーズが高まる中、今後導入が予定されている「地域包括ケアシステム」の構築においては、医療的な観点からのケアはもとより、住み慣れた地域での暮らしや、患者個人の尊厳を守る観点からのアプローチが求められており、看護職の皆様にも大変重要な役割を担っていただく必要があります。

また、現在、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、看護職を含む医療関係者の皆様には、目に見えないウイルスとの戦いに、日々、立ち向かっていただいておりますが、このコロナ禍を終息させ、県民の安全・安心な暮らしを取り戻すためには、ワクチン接種の円滑な推進や治療薬の開発など、解決すべき多くの課題が残されております。

こうした医療現場の新たな課題に対応し、地域からの要請に応える医療体制を更に充実化させていくためには、若い皆さんの持つ、柔軟な発想や行動力、そして豊かな想像力が何よりも期待されているところであります。

これから皆さんは、現場の最前線へ踏み出され、様々な困難に直面することもあるかと存じますが、自らの力を信じて、この県立看護大学の卒業生、修了生としての誇りを胸に、立派な看護職の一人として、また社会人として末永く活躍していただきますよう、心から念願いたしております。

結びに、卒業生、修了生の皆さんをはじめ、本日御出席の皆様方の御健勝、御多幸と、宮崎県立看護大学の今後ますますの御発展を祈念申し上げ、お祝いのことばといたします。

令和3年3月16日

宮崎県議会議長 丸山 裕次郎